

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	健康づくりの支援			総合計画コード	251
部名	健康づくり部	主管課名	健康づくり課	主管課部課コード	040400
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす目的成果	すべての市民は自身が健康であるよう、健康の重要性に対する意識を高く持ち、教育・保健・医療・福祉の各機関は連携して市民の健康づくりの支援を行っている。				
施策概要	健康づくり活動を促進し、健康づくりの体制を整備する。				
個別計画 関連計画	計画名称	あさか健康プラン21(第2次)	計画期間	H 26 年度	~ H 34 年度
				H 年度	~ H 年度
				H 年度	~ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第30回健康まつりは、平成28年11月23日に「くらしの中から健康づくり」をテーマに健康増進センターで実施し、620人の来場者があった。 ・あさか健康プラン21では、「立ち上がり習慣のスヌメ〜座りすぎに注意〜」の講演会を開催し、「健康あさか普及員」は、平成29年3月末の登録者数は230人(見込)である。 ・健康づくり情報「へるす☆アップ」を年4回広報に掲載したほか、健康づくりに関する情報提供紙「健康づくりガイドブック」を作成し、各種イベントや保健事業で活用している。 ・保健センターガイドは、74,000枚作成し、全戸配布した。 ・“健康づくり”を継続的かつ包括的に実施できるような体制を整えるため、「朝霞市健康づくり推進条例」を12月に制定した。 					
H28年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	あさか健康プランにおける推進事業や健康まつり等により、健康づくりの活動を促進した。				
	子育てがしやすいまち	ぐらんば育児支援事業による異世代交流や、健康増進センターの利用促進を行った。				
	つながりのある元気なまち	健康あさか普及員による地域とのつながりを促進した。				
	自然・環境に恵まれたまち	健康づくりガイドブックでウォーキングスポットである黒目川などを紹介し、自然の中でできる健康づくりの取組を促進した。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		267,007	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 「健康あさか普及員」の人数 (説明) 行政と共に市民の健康づくりを推進していくボランティアである「健康あさか普及員」の登録人数	人	240	300	300	300	300
		230	—	—	—	—
② 健康まつり入場者数 (説明) 健康まつりの入場者数	人	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
		620	—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input checked="" type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 健康づくり活動の推進は、行政主導で行うには限界があり、市民の健康長寿を進めるためには市民参画が重要なキーワードである。「あさか健康プラン21(第2次)」では、行政と共に市民の健康づくりを推進していくボランティアである「健康あさか普及員」を創設し、市民参画が進むように事業展開を図っており、今後においても強化・継続していく必要がある。

4. 今後の展開方針[部としての判断]

施策の方向性	[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input checked="" type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 保健衛生総務事務事業	6,717	9,147	3	3	現状のまま
	2 あさか健康プラン21推進事業	17,571	18,081	4	4	現状のまま
	3 彩夏ちゃん健康長寿プロジェクト事業	5,891	5,238	4	3	現状のまま
	4 健康増進センター管理運営事業	173,686	178,828	3	3	現状のまま
	5 健康増進センター施設改修事業	18,118	55,713	3	3	現状のまま
	計(単位:千円)	221,983	267,007	—	—	—
	<input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【健康づくり推進協議会】 健康まつりの会場・時期・方法・内容などの検討が必要である。健康づくり推進条例の検討を行い、市をあげて健康づくりに取り組むことは重要である。					
部長の意見	平成26年度から平成34年度までの健康づくりの活動の指針となる「あさか健康プラン21(第2次)」や、平成28年度に制定した「朝霞市健康づくり推進条例」に基づき、市民の健康づくりを進めるには、関係各課や関係機関との連携が必要である。また、市全体の健康度を上げるために、健康に対して関心の高い人たちだけでなく、関心の低い人たちの意欲を高め、市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組めるような事業展開の工夫が必要である。					